

教科名	美術	週時数	1. 5 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材		教科書 「美術 1」 (光村図書) 副読本 「美術資料」 (秀学社) 「レタリング字典」 (秀学社)			
美術の学習で目指すこと	知識・技能	・ 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 ・ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 ・ 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 ・ 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。			
	思考力 判断力 表現力	・ 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・ 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。			
	主体的に 学習に取り組む態度	・ 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組む。また、作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組む。			
学習の進め方	授業について	・ 一年生を基礎期として、作品の制作を中心に行いながらも、教科書や美術資料集などで色彩や材料、スケッチの知識や技能など基礎基本を幅広く身につけられるようにします。また、ワークシートや言葉で考えを整理したり、学びあいを行い、言語活動の充実を行います。また振り返りシートを使って授業への取り組みを振り返り次の制作に活かせるようにします。絵で表現するばかりでなく考える過程などを言語で表現します。 ・ 鑑賞では、美術作品、文化遺産、生徒作品などを教科書・美術資料・動画などで鑑賞し、ワークシートを使い自分の意見や感想を述べられたり文章で表現したりします。 ・ 豊かな表現を支えるためにユニバーサルデザインした色彩の学習をおこなうために配色カードを利用し色覚のちがいを色名で補います。			
	家庭学習	・ 制作に必要な準備物を考えて用意したり、宿題を忘れずにしましょう。 ・ アイデアスケッチ等をためてアイデアの引きだしにストックしておきましょう。 ・ 芸術や美術に興味を持ち、美術館に足を運んだり、美術関連の番組などを見たりしておきましょう。 ・ 日頃より感性を磨き観察力を磨いておきましょう。			
	定期テスト	・ 授業内容を中心に、ワークシート、資料集の知識技能など基礎基本について観点別の問題や総合問題を出題します。基本である共通項目からの問題や、鑑賞の学習では授業内容や背景や歴史など総合的に出題します。まとめや復習をしておきましょう。さらに美術用語や道具、技法なども出題します。 ・ 実技の出題もあります。この場合事前にテーマが発表されるときもあります。その場合は練習やアイデアの準備をしておきましょう。持参物があるときも貸し借りはできません。注意してください。(特に共通事項の色彩の学習は配色カードを使って回答したりします。のりハサミなどの持参物を忘れ内容にしましょう。貸し借りできません。また学校の物も使用できません。)			
学習上の注意	・ 各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、制作に励めるようにしましょう。 ・ 提出物は期日を守って必ず提出しましょう。 ・ 根気よく制作に集中し、私語は慎みましょう。 ・ 課題のテーマや評価の観点にしたがって制作しましょう。				

美術科 1 年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
オリエンテーション	授業の取り組み方	4	知識・技能	・アイデアスケッチ ・作品 ・鑑賞のワークシート ・ファイルのプリント ・グループワーク ・pc学習 ・定期テスト
色彩学習	基礎学習			
デザインの基礎	用具の使い方			
文字をデザインする①	レタリング 明朝体とゴシック体	5		
文字をデザインする②	うちのデザイン	6		
夏休みの宿題	ポスター制作	7		
デッサン	鉛筆の使い方 陰影のつけ方	9	思考力・判断力・表現力	・アイデアスケッチ ・作品 ・鑑賞のワークシート ・ファイルのプリント ・グループワーク ・pc学習 ・定期テスト
色彩学習	類似色相			
ゴッホ	作者・作品について 作品鑑賞	10		
「ひまわり」の模写	「ひまわり」鑑賞 制作計画 制作 作品鑑賞	11		
		12		
デッサン	デッサン基礎	1	主体的に学習に取り組む態度	・授業での様子 ・振り返りシート ・レポート ・ファイルのプリント ・調べ活動 ・グループワーク
さまざまな描き方	モダンテクニック 技法の実習 作品の制作 イメージと色 作品の鑑賞	2		
		3		